



発行日：平成 25 年 6 月
編集・発行：矢作川流域圏懇談会 事務局

◆第 9 回海部会 WG を開催しました！

6 月 22 日に第 9 回海部会 WG が開催されました。
WG では、海部会 WG の今年度の年間活動計画と、7 月に開催される第 10 回海部会 WG 「ごみ・流木調査プレ調査」の実施方針について話し合いました。



日時：平成 25 年 6 月 22 日（土）13:00～15:00
場所：西尾市文化会館 2 階 202 号会議室
参加者：14 名（事務局含む）

◆主な会議内容

1：海部会 WG の年間活動計画について話し合いました



海部会 WG の今年度の年間活動計画について、内容、スケジュールなどを話し合いました。活動計画をメンバーで共有でき、干潟観察会や水質観察会については、具体的な提案も出ました。

今年度の活動内容として、以下の計画が共有されました。

【海部会 WG の年間活動計画】

- | | |
|------|-------------------------|
| 7 月 | ごみ・流木調査 プレ調査 |
| 8 月 | 干潟観察会 |
| 9 月 | 三河湾水質観察会
ごみ・流木調査 本調査 |
| 10 月 | 土砂見学会（矢作ダム） |
| 11 月 | 土砂見学会（下流河川等） |
| 12 月 | とりまとめ |



2：次回 WG ごみ・流木調査プレ調査の実施方針について話し合いました



7 月に予定している第 10 回海部会 WG 「ごみ・流木調査プレ調査」の実施方針について話し合いました。プレ調査として、佐久島の白浜海岸を調査場所に活動を行うことが決まりました。

【主な内容】

- この手法が海岸だけでなく、河川でも有効かどうか、検討した方が良い。
- 調査だけでなく、ごみを拾って、汗を流してはどうか。漁民の気持ち、海の住民の気持ちが分かる。
- 海部会だけでなく、他の部会にも声をかけた方がいいと思う。

※話し合い中のご意見は裏面に記載しています。

◆お問合せ◆

矢作川流域圏懇談会事務局

〒441-8149 愛知県豊橋市中野町字平西 1-6 国土交通省豊橋河川事務所 事業対策官 西原、専門職 後藤
TEL 0532(48)8107/FAX 0532(48)8100

*矢作川に関する情報は、矢作川流域圏懇談会メーリングリスト (yahagigawa@ijinet.or.jp) までお送りください。



◆話し合いでの主な意見（・意見 ▶回答）

1：海部会 WG の年間活動計画について

① 年間活動計画全体について

- 月 1 回活動があり、9 月は出水時にごみ・流木調査もあって 2 回活動があるので、けっこう忙しいスケジュールとなるが、どうか。（青木）
 - ▶ 矢作川流域圏において、矢作ダム、干潟、貧酸素水塊は、本質的な問題ではあるので、活動内容としては、全て重要なものだと思う。（石田）



② 干潟観察会（8 月）について

- 8 月は潮が一番引く時期でも 30cm である。8 月 5、6、7 日が大潮、20、21 日も潮が引くのでそのあたりで見学会を設定してはどうか。（石田）
- 見学会は何を目的にするのかははっきりさせた方がよい。水生生物の見学なのか、砂の良し悪しなのか。（石川）
 - ▶ 造成時の目的と、その成果が出ている所、出ていない所の違いを知りたい。成功点と課題が分かるとよい。（井上）
- 人工干潟と天然干潟を比べて見学してはどうか。（石田）
 - ▶ 天然干潟は、トンボロでできた東幡豆町のトンボロ干潟がある。愛知県に 1 つしかない天然干潟である。（石川）
- 水産試験場の専門部署に解説をお願いしてもらってはどうか。（石田）

③ 三河湾水質観察会（9 月）について

- 呼びかけは、懇談会全体に行うのか。そうすると、港湾事務所の船の定員 20 人を超える可能性がある。（石田）
 - ▶ 8 月はイベントが多いので、調整が必要である。船の乗員数はだいたい 20 人くらいである。（澤田）
- 山のメンバーに対して説明できるくらい勉強してから行った方がいい。（石川）
 - ▶ ずっとその辺で調査しているので、説明できることはある。（青木）
- 貧酸素水塊は、9 月に台風が来るとなくなってしまうので、あまり遅くない時期の方がいいと思う。（石田）

2：次回 WG ごみ・流木調査プレ調査の実施方針について

- 海で実施した 10m 四方のコドラート（正方形や長方形で区切った調査区のこと）の手法が川でも有効かどうか、検討した方がよい。河川でも一律に 10m 四方の面積が確保できるか疑問。（国立）
 - ▶ 河川は、人由来のごみが少ないため、今回は佐久島を考えている。（西原）
- 調査したあとは、どうするのか。調査だけでなく、ごみを拾って、汗を流してはどうか。漁民の気持ち、海の住民の気持ちが分かる。（鈴木）
 - ▶ ごみの処理については、西尾市のごみ減量推進課に聞いてみる。（国立）
- 海部会だけでなく、他の部会にも声をかけた方がいいと思う。（青木）



● その他

- 矢作ダムの堆積砂を使用した干潟・浅場造成事業があるが、その効果検証をしたい。素人ではできないので、データ出していただきたい。（天野）
 - ▶ 水産試験場、港湾事務所に話をすれば、教えてくれると思う。（石田）
- 干潟・浅場造成事業のアサリへの影響や、アサリによって、窒素、リンのバランスがどう保たれているのか、そういうことが、矢作湾のバランスだと思う。（天野）



ふりかえり

会議後にご記入いただいた、ふりかえりシートの内容の一部をご紹介します。

よかったと思うこと

議論に集中できた/メンバーからの正確な情報が提供されたこと

今後取り組んでいきたい活動など

海に出ること



今後のスケジュール（予定）

次回 海部会第 10 回 WG を 7 月 20 日（土）に開催します

佐久島にて、ゴミ・流木調査のプレ調査を実施し、調査後に調査方法や調査票について話し合いを行う予定です。

